

OUCH!

今月のトピック...

- ・ 概要
- ・ オペレーティングシステムのライフサイクル
- ・ 安全を確保するには

Windows XPのサポート終了

概要

Windows XPは、コンピュータの歴史の中で最も人気のあるオペレーティングシステムの一つです。一時は世界中の大部分のコンピュータで利用されていました。しかし、Windows XPも古くなり、Microsoftは間もなくサポートを終了します。最初にリリースされたのは12年以上の前のことですが、2014年4月8日にはWindows XPのEOL（サポート終了）が予定されています。これは、Microsoftからエンドユーザー向けの更新プログラムや

セキュリティプログラムが提供されなくなるということです。世界中のデスクトップコンピュータの約25%は、今なおWindows XPで動作しており、デスクトップでXPよりシェアが高いのはWindows 7だけです。つまり、サポート終了の日以降は、何億人という人が危険にさらされることになります。注意しなくてはいけないのは、影響を受けるのは個人ユーザーだけではないということです。XPは企業システム、産業制御システム、ATM、医療システム、POS端末など幅広く利用されているからです。今月号では、Windows XPのサポート終了後に考えられるリスクとその対応策を説明します。

ゲストエディター

ジェイソン・フォッセンは、Enclave Consulting LLC社でMicrosoft Windowsのセキュリティを専門としており、SANSの6日間のコースSecuring Windows with the Critical Security Controls (SEC505) 講座の著者でもあります。また、<http://cyber-defense.sans.org/blog/> ではPowerShellのセキュリティスクリプトを提供しています。

オペレーティングシステムのライフサイクル

一般的には知られていないかもしれませんが、コンピュータのオペレーティングシステム（OS）のライフスパンには限りがあります。オペレーティングシステムの開発元は、更新プログラムやパッチを提供することで、新しい機能の追加、システムの安定性の向上、パフォーマンスの改善、システムの安全性の維持をしています。しかし、ある時点で最新技術へ資源を投入する時期が来ると、開発元はサポートを終了します。サポートが終了するということは、サイバー犯罪者にハッキングされる脆弱性があることを開発元が認識していても、更新プログラムやパッチが提供されないということです。4月以降、Windows XPのコンピュータはこのような状態になります。Microsoftは、たとえWindows XPに問題が発見され、サイバー犯罪者に悪用されるとわかっているにもかかわらず、修正プログラムを提供しません。

安全を確保するには

あなた自身をサイバー攻撃から守るためには、サポートされているオペレーティングシステムを使用することです。予算的に可能であれば新しいコンピュータを購入してください。Windows XPを搭載しているコンピュータの大半は、最新のオペレーティングシステムをサポートできません。新しいコンピュータの購入が無理な場合は、少なくともオペレーティングシステムをアップグレードしてください。企業環境では、Windows 8 よりもWindows 7への移行の方

Windows XPのサポート終了

が円滑に進むでしょう。Windows 7のユーザインターフェイスがWindows XPに類似しているためです。ただし、Windows 8は、ソフトウェアを大幅に拡張しているため、過去のWindowsよりも安全面で優れています。また、Apple社のMac OSX等他社のオペレーティングシステムも検討してもいいでしょう。いずれにしても、Windows XPを変えるのは今です。時間はありません。4月後もWindows XPの利用を継続する場合は、以下の手順を参照してください。

- Windows XPで使用するのは、必要不可欠な機能やアプリケーションに限定してください。例えば、XPでのみ動作する旧式プログラムを利用してアップグレードできない場合です。このような場合には、メールやブラウザなどの目的でそのコンピュータで使わないでください。
- Windows XP上でブラウザを使う必要がある場合は、インターネットエクスプローラではなく、Mozilla FirefoxやGoogle Chrome、Operaを利用してください。また、常に最新バージョンを使用することと、開発元がWindows XP上での動作をサポートしていることを確認してください。
- インターネットからファイルを開くWindows XP付随のアプリケーションを使わないでください。例えば、Windows Media Playerなどです。代わりに、アップデートされ最新の状態にされている他社製の個別アプリケーションを使ってください。
- フリーのOpenDNSなどのネットワークセキュリティサービスの利用を検討してください。このサービスは、既知の悪意のあるサイトにアクセスすることを阻止します。また、サービスの中には、既知のボットネットコマンドや制御サーバへ通信が発生しているかを検出し、そのコンピュータが感染しているかどうかを判断するものもあります。
- Windows XP用のウイルス対策ソフトウェアなどサポートされ更新されているセキュリティソフトウェアがインストールされているのを確認してください。
- インターネットに接続する必要がなければ（例えばワープロ用で使用している場合など）、ネットワークから切り離してください。ネットワークへの接続が必要な場合は、ファイアウォールの内側にあること、そしてホスト



Windows XPのサポート終了後は、サポートされている新しいオペレーティングシステムへ移行して常に最新の状態にしておくことで、安全を確保してください。

Windows XPのサポート終了

ファイアウォールがトラフィックをブロックしていることを確認します。企業環境では、Windows XPのコンピュータを別ネットワークに隔離することで、悪意のあるプログラムに感染しても社内ネットワークの他のコンピュータに拡散することを防ぐことができます。

- 定期的なWindows XP上のデータをバックアップして、悪意のあるプログラムへの感染に備えてください。バックアップ先にはネットワークに接続していない場所を少なくとも一箇所を選んでください。例えばUSBドライブです。やむを得ずシステムの復元が必要な場合、新しいコンピュータへ復元してください。Windows XPへ再度復元すると、再感染を繰り返すことになるでしょう。

企業環境でWindows XPを使用している場合、上記以外にも対策が必要になるでしょう。これらはあくまでも一時的な応急処置であって、適切に保護された最新のオペレーティングシステムに代わるものではありません。早かれ遅かれ、新しいシステム移行は必要になります。

詳しくは

毎月発行のセキュリティウェアネスニュースレター「OUCH!」をご活用ください。また、OUCH!のアーカイブで過去のトピックも参照できます。詳しくは、SANSセキュリティウェアネスソリューションのサイトをご覧ください。

<http://www.securingthehuman.org>

日本語版翻訳チーム

日本語版翻訳 - NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

NRIセキュアテクノロジーズは、国内最大の情報セキュリティ専門企業です。マネージドセキュリティサービス、コンサルティング、ソフトウェアソリューションの提供を通じて、情報セキュリティのあらゆる視点からお客をサポートします。

<http://www.nri-secure.co.jp>

リソース

Microsoft サポート終了の発表:

www.microsoft.com/en-us/windows/enterprise/endofsupport.aspx

OpenDNS:

www.opendns.org

移行ガイド:

<http://www.zdnet.com/windows-xp-end-of-life-migration-guide-7000023800/>

OUCH: バックアップと復元:

<http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#september2013>

OUCH!はSANS Securing The Human プログラムによって発行され、[Creative Commons BY-NC-ND 3.0 license](http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/3.0/)に従って配布されます。このニュースレターを再配布し、もしくは啓発資料としてご利用いただけますが、コンテンツの変更は認められません。翻訳その他に関しては、ouch@securingthehuman.org までお問合せください

Editorial Board: Bill Wyman, Walt Scrivens, Phil Hoffman, Bob Rudis

Translated By: 坂 恵理子, 関取 嘉浩